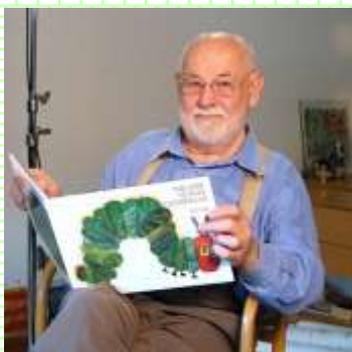




この絵本を見たことある人は多いでしょう。エリック・カールの「はらぺこあおむし」です。世界中でベストセラーになりました。世界70の言語に翻訳され、5500万部発行されました。日本でも、430万部発行され、翻訳され

た外国の絵本では最もたくさん売れた絵本です。



エリック・カールさんは91才でしたが5月23日に亡くなりました。

はらぺこあおむしが生まれて歩き出した場面と、最後に蝶になった



場面です。絵の色彩が鮮やかで美しいですね。

私の家を捜したら、「だんまりこうろぎ」と「ことりをすきになった山」の絵本がありました。見てください。レンゲの花の花びら一枚一枚、マルハナバチの毛一本一本、山のゴツゴツしているところや木の葉っぱ…いろいろな色や模様が混ざり合って美しいですね。

エリック・カールさんどうやって絵を描いていると思いますか。私は昔テレビで、カール



さんが作品を創っているところを見ました。まず、いろいろな色を使って薄紙に模様を描きます。模様のシートをたくさん作って、

それをデザインに合わせて切り抜きます。切り取った紙を貼り合わせて絵に仕上げます。だからいろんな模様が組み合わさって出来上がってます。カールさんにしか表現できない、豊かな色の世界です。

皆さんの家や図書室、図書館いろんなところにエリック・カールさんの絵本があると思います。搜して、手に取って楽しんでください。

